

第3学年総合学習指導計画

3年1組 指導者 小林弘典

123M (41 時間)

が本時

学習活動	子どもの意識
第1次 校外学習の計画を立てる	30M (10 時間)
学習内容	・校外学習の許可は、自分たちが探究的に学習した成果であると気付くこと (知) ・安全性に着目して校外学習の計画を立てること (思) ・協働的に校外学習の計画を立てること (態)
<input type="checkbox"/> 総合で学習することを決める (3M)	・3年生になったから、総合が始まるよ。どんな学習なのかな。今までの小林先生の学級の活動を写真で見せてもらったよ。川に行って魚を捕ったり、ゴミを拾ったりしているね。とても楽しそうだな。ぼくたちも川で魚捕りをしたいな。でも、校外での学習は、校長先生に許可をもらう必要があるのだから。校長先生に、許可をもらいに行こう。
<input type="checkbox"/> 校長先生に川での活動の許可を願う① (3M)	・校長先生が、総合の授業に来てくれたよ。校長先生に川に行ってもよいか聞いたら、「何をしに川に行くのか」「どこの川に行くのか」「捕まえた生き物はどうするのか」校長先生から質問されたよ。みんなの意見がまとまっていないから、もう一度話し合いたいな。
<input type="checkbox"/> 校長先生から示された視点について話し合う① (3M)	・川には、採集活動と生物調査で行くのだね。次に、どこの川に行くか決めようよ。今年は、バスは使えないのだね。山口市の地図で学校の近くの川を調べてみよう。糸米川、五十鈴川なら歩いて行けるね。1年生の時に糸米川に行ったけれど、たくさん魚がいたね。よし。糸米川に行こう。捕まえた生き物は、観察のために教室で飼育しよう。
<input type="checkbox"/> 校長先生に川での活動の許可を願う② (3M)	・もう一度校長先生に来てもらったよ。活動内容については、分かっただけだね。でも、糸米川の深さと活動の日程を教えてくださいということだったね。また、一緒に行く大人が、小林先生一人だと心配だということだったね。これらのことについてもう一度考えて、活動の許可をお願いします。
<input type="checkbox"/> 校長先生から示された視点について話し合う② (3M)	・休日に糸米川に行って調べてきた友だちがいるよ。川の深さは、10～70cmだ。写真も撮ってきてくれたから、校長先生に見てもらおう。日程は、夏休み明けの晴れた日にしよう。朝の時間に準備を済ませて、1時間目から出発して、11時に学校に戻るようにしよう。安全のために、ライフジャケットを着るよ。また、先生の見える範囲で活動しようね。よし。もう一度校長先生をお願いします。
<input type="checkbox"/> 校長先生に川での活動の許可を願う③ (3M)	・また校長先生に来てもらったよ。もう3回目だね。今回こそ、許可をもらいたいな。川の様子や、日程、ライフジャケットは分かっただけだね。でも、小林先生一人ではだめなのだから。また、熱中症の危険があるので、晴れた日でも行けないことがあると言われたよ。
<input type="checkbox"/> 校長先生から示された視点について話し合う③ (3M)	・もう一度みんなで話し合おう。川には、小林先生と他に二人の先生に来てもらえるようにしよう。熱中症については、いつも放送で熱中症予報をしている森重先生にお話を聞いてみたよ。森重先生は、気温と湿度を調べているのだから。私たちも、川に行く日は、天気予報で気温や湿度について調べて安全かどうかを確認しようよ。
<input type="checkbox"/> 校長先生に川での活動の許可を願う④ (3M)	・また校長先生に来てもらったよ。もう4回目だよ。今回こそ、許可をもらいたいな。やった。川に行ってもよいと許可がもらえたよ。何度もよく話し合って考えたことを褒めてもらえたよ。先生たちも、いつもたくさん話し合って活動の計画を考えているのだから。私たちも、

<input type="checkbox"/> 糸米川に行く日程について話し合う (3M) <input type="checkbox"/> 水槽の準備をする (3M)	<p>活動を計画することができたね。うれしいな。これからもたくさん話し合って、総合の学習を計画していきたいな。</p> <ul style="list-style-type: none"> 今日は、川に行く日を決めようよ。先生に、曜日ごとの専科の授業数を教えてもらったよ。専科の授業がない一週間後の金曜日しよう。週間天気予報によると、降水確率が10%だね。これからも天気予報で確認しようよ。それから、一緒に行ってくれる先生を探さないといけないよ。休み時間を利用して、先生たちに都合を聞きに行こう。 校長先生と田村先生が一緒に行ってくれることになったよ。今日は、魚を飼育する準備をしよう。水槽をきれいに洗ったら水を入れて完成だね。今日まで時間を掛けて、いろいろな準備をしてきたけれど、明日は遂に魚捕りに行くことができるよ。楽しみだな。
--	--

第2次 地域の川で採集活動を行う	30M (10時間)
-------------------------	-------------------

学習内容 <ul style="list-style-type: none"> 地域の川に棲む生物種を捉えるため、適切な方法を用いて、計画的に採集活動を行うこと (知) 採集結果を比較し、採集場所による生物相の違いについて考えること (思) 地域の川やそこに棲む生物への関心をもって、協働的に探究活動に取り組むこと (態)

<input type="checkbox"/> 糸米川で採集活動を行う (9M) <input type="checkbox"/> 糸米川での採集活動を振り返る (3M) <input type="checkbox"/> 次の計画を立てる (3M) <input type="checkbox"/> 五十鈴川用の水槽について話し合う (3M) <input type="checkbox"/> 五十鈴川で採集活動を行う (9M)	<ul style="list-style-type: none"> 糸米川に着いたよ。どんな生き物がいるのか楽しみだな。水が冷たくて気持ちいいね。あ。石と石の間にカニがいるよ。周りの友だちもカニを捕まえているね。向こうで魚を捕まえたみたいだな。行ってみよう。ここは、深いな。魚は深いところにいるのだから。草の下をガサガサすると捕れるみたいだね。友だちと一緒に、端に魚を追い込むと捕れると言っている友だちもいるよ。やってみよう。あれ。もう帰りの時間なのか。あつという間だったな。魚は捕れなかったけれど、カニも捕れたし楽しかったな。 どんな生き物を採集できたのか種類と数を確認しよう。カワムツやタカハヤなど魚のなかまから、カワニナのような貝のなかままで全8種180匹の生き物が捕れたのだね。川にはいろいろな生き物がいるのだね。また、生き物によって捕れた場所に違いがあるみたいだね。カニは、浅くて石がたくさんあるところで捕れたよ。カワニナも同じところで捕れているね。魚やエビは、深いところや草の近くで捕れていたのか。次は、深いところで魚を捕りたいな。 次の計画を考えよう。次は、学校の前の五十鈴川に行ってみよう。五十鈴川は、魚捕りができる範囲が広いので2回に分けて行こうよ。1回目は学校前で、2回目は少し下流の白石小学校の方に行こう。糸米川と五十鈴川で捕れる生き物で、種類や数、大きさに違いがあるか比べたいと言っている友だちがいるよ。確かに違いがあるのか気になるな。一週間後の火曜日に行けそうだよ。一緒に行ってもらえる先生を探そう。天気予報も調べておこう。 明日は、伊賀先生に来てもらえることになったよ。水槽はどうしよう。教室には新しく水槽を置く場所がないよ。ビオトープやP Cルーム前の大水槽を使うという案がよいね。ビオトープか大水槽を使ってもよいか、校長先生に聞いてみよう。どちらもダメだと言われるかもしれないから、水槽代わりに大きなプラスチック製の桶を教室後ろの床に設置しておこう。明日の五十鈴川での採集活動が楽しみだな。 五十鈴川は近いね。五十鈴川にはどんな生き物がいるのかな。ここは、浅くて石がたくさんあるよ。ということは、カニがいるのではないかな。やっぱりいたよ。みんなもたくさんカニを捕まえているね。
---	--

<p>□五十鈴川での採集活動を振り返る (3M)</p>	<p>もう少し上流に行ってみよう。ここは、深くなっているよ。魚がいそうだな。友だちと協力して追い込んでみよう。やった。魚が捕れたよ。大きい。初めて魚が捕れたよ。みんなも魚が捕れているね。五十鈴川は魚が多いのかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> • どんな生き物を採集できたのか種類と数を確認しよう。今回は、全7種113匹の生き物が捕れたのだね。糸米川の結果と比べると、五十鈴川では、捕れた生き物の数と種類は減ったけれど、魚の種類は増えているよ。そして、五十鈴川の方が大きな魚がたくさん捕れたね。川底の様子、水温、流れの速さなど、川の環境による違いが、生き物の違いとなっているとみんなは考えているようだね。たしかに生き物と川の環境は、関係がありそうだな。採集結果を比べると、いろいろなことに気付くことができたね。
------------------------------	--

第3次 ビオトープをつくる 63M (21時間)

学習内容 ・生物の相互性に気付くこと (知) ・ビオトープを多角的に見て具体的な活動を決定すること (思)
 ・環境との関わりを見直そうとすること (態)

<p>□次の計画を立てる (3M)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 校長先生から、大水槽の使用はダメだけど、ビオトープは使用してもよいと言われたよ。それなら、ビオトープを先につくってから、2回目の五十鈴川での魚捕りをしようよ。そうすれば、捕まえた生き物をビオトープで飼育できるからね。よし。次回の総合はビオトープづくりで、その次の総合は魚捕りだ。
<p>□ビオトープの草を抜く (6M)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 今日は、ビオトープの草を抜いて、魚が棲めるようにしよう。重い。草の根が張っていてなかなか抜けないよ。2時間かけてやっと一区画分の草が抜けたよ。でも、水は濁っていて、底には泥がたくさん残っているね。これではまだ魚を入れることはできないよ。もっときれいにしたいな。次もビオトープづくりをしようよ。
<p>□ビオトープの泥を汲み出す (6M)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 今日は、草を抜く班、泥をくみ出す班、バケツで水を入れる班など役割を決めて活動しよう。道具もいろいろと準備してきたよ。これなら時間内にビオトープが完成するはずだよ。よし。がんばろう。ビオトープの底が見えてきたよ。この前よりも効率良く作業ができたね。でも、まだ水が濁っているね。次の時間できつときれいにできるよ。でも、先生方にも約束したから来週は魚捕りだね。ビオトープづくりは、魚捕りが終わってからまたがんばろうよ。
<p>□五十鈴川で採集活動を行う (9M)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 今日は、白石小学校の前から魚捕りをするよ。前回のようない深くないよ。魚がいないね。浅くて石がたくさんある場所もないから、カニも捕れないよ。どこも浅くて流れが速いね。終わりの時間だ。みんなもあまり生き物を捕まえることができていないようだな。
<p>□五十鈴川での採集活動を振り返る (3M)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • どんな生き物を採集できたのか種類と数を確認しよう。今回は、全9種208匹の生き物が捕れたのだね。今回もたくさん生き物が捕れたね。同じ川でも場所によって、川の様子や捕れる生き物の数が変わるのであるのだね。やっぱり川の深さや石の多さ、流れの速さが、生き物と関係していると思うな。これで魚捕りは終わりだね。これからは、ビオトープづくりを進めていこう。
<p>□ビオトープに水を入れる (6M)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 今日は、ビオトープの底や壁面をきれいにしておいて、水を張ろう。3回目の作業だから、みんなも慣れてきて、手際よく活動できたね。水を入れるととてもきれいなビオトープに見えるよ。来週は、いよいよ魚を移そうよ。このビオトープで、魚が泳いでいる姿を早く見たいな。

<input type="checkbox"/> 水野先生から、魚の飼育についての話を聞く (3M)	<ul style="list-style-type: none"> 今日は、おさかなはかせの水野先生という方に、オンラインで授業をしてもらえるのだって。例年、総合では川の生き物についてたくさんを教えてくださいている先生なのだって。去年、水野先生が山口に来られた時に捕まえた魚のことや、その魚の飼育について教えてもらえたよ。とても勉強になったな。
<input type="checkbox"/> ビオトープに魚を移す (3M)	<ul style="list-style-type: none"> さあ。いよいよ魚をビオトープに移すよ。気に入ってくれるかな。初めてだからか、みんなビオトープの端に集まっているよ。慣れるまで時間が必要だと思うよ。隠れ家になる水草や石を入れた方がよいのかな。でも、いろいろなものを入れると水が汚れるのではないかな。
<input type="checkbox"/> ビオトープに入れるものについて話し合う (3M)	<ul style="list-style-type: none"> 魚にとっては、ビオトープの中に石や草がある方がよいのかな。でも、折角きれいにしたビオトープが汚れてしまうね。どうしたらよいのかな。水野先生に聞いてみようよ。今日は、自分たちだけでなく魚の立場でもビオトープづくりについて考えていたね。
<input type="checkbox"/> 水野先生にビオトープについて質問する (3M)	<ul style="list-style-type: none"> 今日は、水野先生にオンラインで質問できるよ。ビオトープの中は、自然と同じような環境をつくとよいのだって。草も、水草や水際にある草を実際の川から移すとよいそうだよ。また、実際にビオトープを見て参考にしたらよいとも言われたね。白石小学校にビオトープがあるそうだよ。どのようなビオトープか見てみたいな。
<input type="checkbox"/> 白石小学校のビオトープを観察する (6M)	<ul style="list-style-type: none"> 白石小学校のビオトープを見せてもらえるのだって。行ってみよう。メダカが泳いでいるよ。水草だけでなく、苔も生えているね。あまりきれいではないけれど、生き物にとっては、これがよいのだね。白石小学校の先生は、ここにある草は五十鈴川から移したものだと言われたよ。水野先生も同じことを言われていたね。私たちも、五十鈴川で石や草を採集して、ビオトープに入れようよ。
<input type="checkbox"/> 五十鈴川で石や草を採集し、ビオトープに設置する (9M)	<ul style="list-style-type: none"> よし。ビオトープに入れるための石と草を探そう。集めた石と草を持って帰ってビオトープに入れるよ。石や草を入れると、本当の川のようになったよ。魚やカニも隠れるところできて、安心して棲むことができるね。これで本当のビオトープが完成したのだね。
<input type="checkbox"/> 単元を振り返る (3M)	<ul style="list-style-type: none"> ビオトープづくりでは、道徳や社会のようにいろいろな立場で考えたね。これからも困ったときには、立場を変えて考えてみるよ。自然の川には、いろいろな生き物が関わりながら棲んでいることも分かったよ。自然を再現することは限界もあるから、本当の自然は大切にしないといけないね。総合では、これまで計画を立てたり、先生方をお願いしたり、水野先生に質問したりして、大変なこともあったし、時間もかかったけれど、自分たちで学習を進めることができとても楽しかったね。これからの学習でも、自分たちでできることは、自分たちで進めていけるようがんばるぞ。